

岩 広 連 監 第 11 号

平 成 23 年 10 月 7 日

岩手県後期高齢者医療広域連合長 谷藤 裕明 様

岩手県後期高齢者医療広域連合監査委員 武 田 牧 雄

同

千 田 力



平成22年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計
決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第233条第2項の規定により審査に付された平成22年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

23.10.-7

平成 22 年度

岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

岩手県後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

岩手県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算・基金の運用状況

第1	審査の対象	1
第2	審査の期日	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	審査の概要	
1	総括	
(1)	決算の概要	2
ア	決算収支の状況	2
イ	歳入決算の状況	3
ウ	歳出決算の状況	3
エ	歳入歳出前年度比較	3
2	一般会計	
(1)	決算の概要	4
(2)	歳入	5
(3)	歳出	9
3	特別会計	
(1)	決算の概要	12
(2)	歳入	13
(3)	歳出	19
4	財産	
(1)	物品	24
(2)	基金	24
第6	審査意見	25

注 文中及び表中の比率は百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入したが、端数調整の都合上、これによらないものがある。

平成22年度岩手県後期高齢者医療広域連合 歳入歳出決算及び基金の運用状況審査意見

第1 審査の対象

- (1) 平成22年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成22年度岩手県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (3) 実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

第2 審査の期日

平成23年7月27日から平成23年8月10日まで

第3 審査の方法

広域連合長から提出された平成22年度歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算の執行は適正であるかなどに主眼を置くとともに、関係諸帳簿及び証書類等によって調査照合を行った。

また、必要に応じて説明を求めたほか、例月出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書類等は、法令の規定に準拠して調製されており、決算書類等に記載の金額は、会計伝票、諸帳簿及び証書類等と符合し、計数は正確であると認められた。また、予算執行状況についても、概ね適切かつ効率的、効果的に処理されていると認められた。

第5 審査の概要

1 総括

(1) 決算の概要

ア 決算収支の状況

平成22年度の一般会計・特別会計の総決算額は、歳入総額 140,351,143,989円に対し、歳出総額 135,229,294,571円で、歳入歳出差引額は（形式収支額）5,121,849,418円、実質収支額 5,121,849,418円となっている。

（単位：円、％）

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引残額 C=A-B	翌年度へ繰り越すべき財源 D
一般	1,252,223,572	1,237,696,729	14,526,843	0
後期高齢者医療	139,098,920,417	133,991,597,842	5,107,322,575	0
合計	140,351,143,989	135,229,294,571	5,121,849,418	0
平成21年度	135,367,306,425	130,959,135,961	4,408,170,464	0
比較増減 -	4,983,837,564	4,270,158,610	713,678,954	0
増減率	3.7	3.3	16.2	0

区 分	当年度実質収支額 E=C-D	前年度実質収支額 F	当年度単年度収支額 E-F
一般	14,526,843	13,018,118	1,508,725
後期高齢者医療	5,107,322,575	4,395,152,346	712,170,229
合計	5,121,849,418	4,408,170,464	713,678,954
平成21年度	4,408,170,464	3,538,557,439	869,613,025
比較増減 -	713,678,954	869,613,025	155,934,071
増減率	16.2	24.6	17.9

イ 歳入決算の状況

歳入決算額は、調定額 140,351,143,989円に対し 140,351,143,989円の収入で、不納欠損額は 0円、収入未済額は 0円となっている。

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
一般	1,252,485,000	1,252,223,572	1,252,223,572	0	0
後期高齢者医療	141,648,589,000	139,098,920,417	139,098,920,417	0	0
合 計	142,901,074,000	140,351,143,989	140,351,143,989	0	0

ウ 歳出決算の状況

支出済額は 135,229,294,571円、予算現額に対し94.6%の執行率で、不用額 7,671,779,429円となっている。

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
一般	1,252,485,000	1,237,696,729	0	14,788,271	98.8
後期高齢者医療	141,648,589,000	133,991,597,842	0	7,656,991,158	94.6
合 計	142,901,074,000	135,229,294,571	0	7,671,779,429	94.6

エ 歳入歳出前年度比較

(単位：円、%)

区 分		平成22年度	平成21年度	前年度比較	
				増減額	増減率
一般	歳入	1,252,223,572	1,521,100,816	268,877,244	17.7
	歳出	1,237,696,729	1,508,082,698	270,385,969	17.9
後期高齢者医療	歳入	139,098,920,417	133,846,205,609	5,252,714,808	3.9
	歳出	133,991,597,842	129,451,053,263	4,540,544,579	3.5
合 計	歳入	140,351,143,989	135,367,306,425	4,983,837,564	3.7
	歳出	135,229,294,571	130,959,135,961	4,270,158,610	3.3

2 一般会計

(1) 決算の概要

(単位：円、%)

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比較	
			増減額	増減率
予算現額 A	1,252,485,000	1,521,918,000	269,433,000	17.7
調定額 B	1,252,223,572	1,521,100,816	268,877,244	17.7
収入済額 C	1,252,223,572	1,521,100,816	268,877,244	17.7
不納欠損額 D	0	0	0	0
収入未済額 E=B-C-D	0	0	0	0
支出済額 F	1,237,696,729	1,508,082,698	270,385,969	17.9
翌年度繰越額 G	0	0	0	0
不用額 H=A-F-G	14,788,271	13,835,302	952,969	6.9
収入支出差引額 I=C-F	14,526,843	13,018,118	1,508,725	11.6
予算現額に対する執行率 J=C/A	100.0	99.9	-	-
調定に対する収入率 K=C/B	100.0	100.0	-	-
歳出執行率 L=F/A	98.8	99.1	-	-

平成22年度の一般会計歳入歳出の決算額は、収入済額が 1,252,223,572円、支出済額 1,237,696,729円である。予算現額 1,252,485,000円に対する歳入の執行率は100.0%、歳出の執行率は 98.8%となり、収入支出差引額は 14,526,843円となっている。

(2) 歳入

〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	構成比
1 分担金及び負担金	197,327,000	197,327,000	197,327,000	0	0	15.8
2 国庫支出金	1,033,706,000	1,033,695,860	1,033,695,860	0	0	82.6
3 県支出金	1,118,000	1,107,750	1,107,750	0	0	0.1
4 財産収入	1,666,000	1,695,119	1,695,119	0	0	0.1
6 繰入金	4,089,000	4,088,791	4,088,791	0	0	0.3
7 繰越金	13,018,000	13,018,118	13,018,118	0	0	1.0
8 諸収入	1,561,000	1,290,934	1,290,934	0	0	0.1
合 計	1,252,485,000	1,252,223,572	1,252,223,572	0	0	100.0
平成21年度	1,521,918,000	1,521,100,816	1,521,100,816	0	0	-
増減額 -	269,433,000	268,877,244	268,877,244	0	0	-
増減率	17.7	17.7	17.7	0.0	0.0	-

第1款 分担金及び負担金（市町村負担金）

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	197,327,000	197,327,000	197,327,000	0	0	100.0	100.0
21	207,768,000	207,768,000	207,768,000	0	0	100.0	100.0
比較	10,441,000	10,441,000	10,441,000	0	0		
増減比	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0		

収入済額は197,327,000円で、前年度に比べ10,441,000円減少している。減少の要因は、職員1名減、事務事業費の効率的な執行並びに財政調整基金繰入金を繰り入れたことに伴う、市町村からの事務費負担金の減である。

第2款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	1,033,706,000	1,033,695,860	1,033,695,860	0	0	100.0	100.0
21	1,289,737,000	1,289,709,499	1,289,709,499	0	0	100.0	100.0
比較	256,031,000	256,013,639	256,013,639	0	0		
増減比	19.9	19.9	19.9	0.0	0.0		

〔国庫支出金の項別内訳〕

(単位：円、%)

国庫支出金	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 国庫負担金 (保険料不均一賦課負担金)	1,107,750	1,107,750	100.0	1,660,900	553,150	33.3
2 国庫補助金 (総務費国庫補助金)	1,032,588,110	1,032,588,110	100.0	1,288,048,599	255,460,489	19.8
合計	1,033,695,860	1,033,695,860	100.0	1,289,709,499		

収入済額は1,033,695,860円で、前年度に比べ256,013,639円減少している。減少の主な要因は、保険料軽減の補てん財源である、高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金の減である。

第3款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	1,118,000	1,107,750	1,107,750	0	0	99.1	100.0
21	1,689,000	1,660,900	1,660,900	0	0	98.3	100.0
比較	571,000	553,150	553,150	0	0		
増減比	33.8	33.3	33.3	0.0	0.0		

収入済額は1,107,750円で、前年度に比べ553,150円減少している。

第4款 財産収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	1,666,000	1,695,119	1,695,119	0	0	101.7	100.0
21	3,849,000	3,849,553	3,849,553	0	0	100.0	100.0
比較	2,183,000	2,154,434	2,154,434	0	0		
増減比	56.7	56.0	56.0	0.0	0.0		

収入済額は1,695,119円で、前年度に比べ2,154,434円減少している。減少の主な要因は、後期高齢者医療制度臨時特例基金の運用益の減である。

第6款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	4,089,000	4,088,791	4,088,791	0	0	100.0	100.0
21	8,500,000	8,510,000	8,510,000	0	0	100.0	100.0
比較	4,411,000	4,421,209	4,421,209	0	0		
増減比	51.9	52.0	52.0	0.0	0.0		

収入済額は4,088,791円で、前年に比べ4,421,209円減少している。減少の主な要因は、財政調整基金繰入金の減である。

第7款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	13,018,000	13,018,118	13,018,118	0	0	100.0	100.0
21	8,177,000	8,177,582	8,177,582	0	0	100.0	100.0
比較	4,841,000	4,840,536	4,840,536	0	0		
増減比	59.2	59.2	59.2	0.0	0.0		

収入済額は 13,018,118円で、前年度に比べ 4,840,536円増加している。

第8款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	1,561,000	1,290,934	1,290,934	0	0	82.7	100.0
21	2,197,000	1,425,282	1,425,282	0	0	64.9	100.0
比較	636,000	134,348	134,348	0	0		
増減比	28.9	9.4	9.4	0.0	0.0		

〔諸収入の項別内訳〕

(単位：円、%)

諸収入	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 預金利子	13,628	13,628	100.0	72,881	59,253	81.3
2 雑入	1,277,306	1,277,306	100.0	1,352,401	75,095	5.6
合計	1,290,934	1,290,934	100.0	1,425,282	134,348	9.4

収入済額は 1,290,934円で、前年度に比べ 134,348円減少している。

(3) 歳出

支出済額は 1,237,696,729円、予算現額 1,252,485,000円に対する執行率は 98.8%と
なっている。

〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 議会費	1,699,000	1,057,258	62.2	0.1	0	641,742
2 総務費	1,241,540,000	1,234,423,971	99.4	99.7	0	7,116,029
3 民生費	2,238,000	2,215,500	99.0	0.2	0	22,500
4 予備費	7,008,000	0	0.0	0.0	0	7,008,000
合 計	1,252,485,000	1,237,696,729	98.8	100.0	0	14,788,271
平成21年度	1,521,918,000	1,508,082,698	99.1	-	0	13,835,302
増減額 -	269,433,000	270,385,969		-	0	952,969
増減率	17.7	17.9		-	0.0	6.9

第1款 議会費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	1,699,000	1,057,258	0	641,742	62.2
21	1,921,000	1,305,515	0	615,485	68.0
比較	222,000	248,257	0	26,257	
増減比	11.6	19.0	0.0	4.3	

支出済額は 1,057,258円で、前年度に比べ 248,257円減少している。減少の主な要因は、費用弁
償の減である。

第2款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	1,241,540,000	1,234,423,971	0	7,116,029	99.4
21	1,511,633,000	1,503,455,383	0	8,177,617	99.5
比較	270,093,000	269,031,412	0	1,061,588	
増減比	17.9	17.9	0.0	13.0	

〔総務費の項別内訳〕

(単位：円、%)

総務費	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	予算額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減率
1 総務管理費	1,241,297,000	1,234,310,771	99.4	1,503,380,073	269,069,302	17.9
2 選挙費	24,000	0	0	0	0	0
3 監査委員費	219,000	113,200	51.7	75,310	37,890	50.3
合計	1,241,540,000	1,234,423,971	99.4	1,503,455,383	269,031,412	17.9

支出済額は1,234,423,971円で、前年度に比べ269,031,412円減少している。減少の主な要因は、後期高齢者医療制度臨時特例基金積立金の減である。

第3款 民生費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	2,238,000	2,215,500	0	22,500	99.0
21	3,378,000	3,321,800	0	56,200	98.3
比較	1,140,000	1,106,300	0	33,700	
増減比	33.7	33.3	0.0	60.0	

支出済額は2,215,500円で、前年度に比べ1,106,300円減少している。

第4款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	7,008,000	0	0	7,008,000	0.0
21	4,986,000	0	0	4,986,000	0.0
比較	2,022,000	0	0	2,022,000	
増減比	40.6	0.0	0.0	40.6	

3 特別会計

(1) 決算の概要

(単位：円、%)

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比較	
			増減額	増減率
予算現額 A	141,648,589,000	132,660,383,000	8,988,206,000	6.8
調定額 B	139,098,920,417	133,846,205,609	5,252,714,808	3.9
収入済額 C	139,098,920,417	133,846,205,609	5,252,714,808	3.9
不納欠損額 D	0	0	0	0
収入未済額 E=B-C-D	0	0	0	0
支出済額 F	133,991,597,842	129,451,053,263	4,540,544,579	3.5
翌年度繰越額 G	0	0	0	0
不用額 H=A-F-G	7,656,991,158	3,209,329,737	4,447,661,421	138.6
収入支出差引額 I=C-F	5,107,322,575	4,395,152,346	712,170,229	16.2
予算現額に対する執行率 J=C/A	98.2	100.9	-	-
調定に対する収入率 K=C/B	100.0	100.0	-	-
歳出執行率 L=F/A	94.6	97.6	-	-

平成22年度の後期高齢者医療特別会計歳入歳出の決算額は、収入済額が 139,098,920,417円、支出済額 133,991,597,842円である。予算現額 141,648,589,000円に対する歳入の執行率は98.2%、歳出の執行率は 94.6%となり、収入支出差引額は 5,107,322,575円となっている。

(2) 歳入

〔歳入予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	構成比
1 市町村支出金	21,601,514,000	21,428,501,979	21,428,501,979	0	0	15.4
2 国庫支出金	46,528,611,000	46,276,462,891	46,276,462,891	0	0	33.3
3 県支出金	11,196,785,000	10,926,570,450	10,926,570,450	0	0	7.9
4 支払基金交付金	56,814,392,000	54,833,985,000	54,833,985,000	0	0	39.4
5 特別高額医療費 共同事業交付金	2,700,000	6,894,615	6,894,615	0	0	0.0
8 繰入金	1,018,075,000	1,012,010,412	1,012,010,412	0	0	0.7
9 繰越金	4,395,152,000	4,395,152,346	4,395,152,346	0	0	3.2
11 諸収入	91,360,000	219,342,724	219,342,724	0	0	0.1
合 計	141,648,589,000	139,098,920,417	139,098,920,417	0	0	100.0
平成21年度	132,660,383,000	133,846,205,609	133,846,205,609	0	0	-
増減額 -	8,988,206,000	5,252,714,808	5,252,714,808	0	0	-
増減率	6.8	3.9	3.9	0.0	0.0	-

第1款 市町村支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	21,601,514,000	21,428,501,979	21,428,501,979	0	0	99.2	100.0
21	20,626,748,000	20,595,697,579	20,595,697,579	0	0	99.8	100.0
比較	974,766,000	832,804,400	832,804,400	0	0		
増減比	4.7	4.0	4.0	0.0	0.0		

〔市町村支出金の項別内訳〕

(単位：円、%)

市町村支出金	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 市町村負担金	21,428,501,979	21,428,501,979	100.0	20,595,697,579	832,804,400	4.0
(1) 事務費負担金	259,443,000	259,443,000	100.0	275,119,000	15,676,000	5.7
(2) 保険料等負担金	10,179,939,790	10,179,939,790	100.0	10,041,617,399	138,322,391	1.4
(3) 療養給付費負担金	10,989,119,189	10,989,119,189	100.0	10,278,961,180	710,158,009	6.9
合計	21,428,501,979	21,428,501,979	100.0	20,595,697,579	832,804,400	4.0

収入済額は 21,428,501,979円 で、前年度に比べ 832,804,400円増加している。増加の主な要因は、保険料等負担金については、被保険者数の増加等によるもので、療養給付費負担金については、医療給付費が増加したことによるものである。

第2款 国庫支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	46,528,611,000	46,276,462,891	46,276,462,891	0	0	99.5	100.0
21	43,443,115,000	44,648,519,756	44,648,519,756	0	0	102.8	100.0
比較	3,085,496,000	1,627,943,135	1,627,943,135	0	0		
増減比	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0		

〔国庫支出金の項別内訳〕

(単位：円、%)

国庫支出金	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 国庫負担金	33,052,788,587	33,052,788,587	100.0	31,274,103,424	1,778,685,163	5.7
(1) 療養給付費負担金	32,748,136,106	32,748,136,106	100.0	31,035,779,908	1,712,356,198	5.5
(2) 高額医療費負担金	304,652,481	304,652,481	100.0	238,323,516	66,328,965	2.8
2 国庫補助金	13,223,674,304	13,223,674,304	100.0	13,374,416,332	150,742,028	1.1
(1) 調整交付金	13,153,497,000	13,153,497,000	100.0	13,298,608,000	145,111,000	1.1
(2) 保健事業補助金	57,711,000	57,711,000	100.0	52,631,223	5,079,777	9.7
(3) 総務費補助金	7,412,000	7,412,000	100.0	-	7,412,000	皆増
(4) 特別高額医療費 共同事業補助金	5,054,304	5,054,304	100.0	-	5,054,304	皆増
高齢者医療制度 円滑運営補助金	-	-	-	23,177,109	-	皆減
合計	46,276,462,891	46,276,462,891	100.0	44,648,519,756	1,627,943,135	3.6

収入済額は 46,276,462,891円で、前年度に比べ 1,627,943,135円増加している。増加の主な要因は、医療給付費が増加したことによるものである。

第3款 県支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	11,196,785,000	10,926,570,450	10,926,570,450	0	0	97.6	100.0
21	10,408,928,000	10,408,927,449	10,408,927,449	0	0	100.0	100.0
比較	787,857,000	517,643,001	517,643,001	0	0		
増減比	7.6	5.0	5.0	0.0	0.0		

〔県支出金の項別内訳〕

(単位：円、%)

県支出金	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 県負担金	10,926,570,450	10,926,570,450	100.0	10,408,927,449	517,643,001	5.0
(1) 療養給付費負担金	10,635,873,011	10,635,873,011	100.0	10,170,603,933	465,269,078	4.6
(2) 高額医療費負担金	290,697,439	290,697,439	100.0	238,323,516	52,373,923	22.0
合計	10,926,570,450	10,926,570,450	100.0	10,408,927,449	517,643,001	5.0

収入済額は10,926,570,450円で、前年度に比べ517,643,001円増加している。増加の主な要因は、医療給付費が増加したことによるものである。

第4款 支払基金交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	56,814,392,000	54,833,985,000	54,833,985,000	0	0	96.5	100.0
21	53,464,740,000	53,464,739,000	53,464,739,000	0	0	100.0	100.0
比較	3,349,652,000	1,369,246,000	1,369,246,000	0	0		
増減比	6.3	2.6	2.6	0.0	0.0		

収入済額は54,833,985,000円で、前年度に比べ1,369,246,000円増加している。増加の主な要因は、医療給付費が増加したことによるものである。

第5款 特別高額医療費共同事業交付金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	2,700,000	6,894,615	6,894,615	0	0	255.4	100.0
21	11,597,000	11,987,771	11,987,771	0	0	103.4	100.0
比較	8,897,000	5,093,156	5,093,156	0	0		
増減比	76.7	42.5	42.5	0.0	0.0		

収入済額は 6,894,615円で、前年度に比べ 5,093,156円減少している。減少の要因は、交付対象である1件当たり400万円超のレセプト件数の減である。

第8款 繰入金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	1,018,075,000	1,012,010,412	1,012,010,412	0	0	99.4	100.0
21	1,026,645,000	1,026,588,713	1,026,588,713	0	0	100.0	100.0
比較	8,570,000	14,578,301	14,578,301	0	0		
増減比	0.8	1.4	1.4	0.0	0.0		

〔繰入金の項別内訳〕

(単位：円、%)

繰入金	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 繰入金	1,012,010,412	1,012,010,412	100.0	1,026,588,713	14,578,301	1.4
(1) 一般会計繰入金	2,215,500	2,215,500	100.0	3,321,800	1,106,300	33.3
(2) 基金繰入金	1,009,794,912	1,009,794,912	100.0	1,023,266,913	13,472,001	1.3
合計	1,012,010,412	1,012,010,412	100.0	1,026,588,713	14,578,301	1.4

収入済額は 1,012,010,412円で、前年度に比べ 14,578,301円減少している。減少の要因は、保険料軽減の補てん財源に充てるための後期高齢者医療制度臨時特例基金繰入金の減である。

第9款 繰越金

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	4,395,152,000	4,395,152,346	4,395,152,346	0	0	100.0	100.0
21	3,530,379,000	3,530,379,857	3,530,379,857	0	0	100.0	100.0
比較	864,773,000	864,772,489	864,772,489	0	0		
増減比	24.5	24.5	24.5	0.0	0.0		

収入済額は 4,395,152,346円で、前年度に比べ 864,772,489円増加している。

第11款 諸収入

(単位：円、%)

年度	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額	収入未済額	執行率 C/A	収納率 C/B
22	91,360,000	219,342,724	219,342,724	0	0	240.1	100.0
21	148,230,000	159,365,484	159,365,484	0	0	107.5	100.0
比較	56,870,000	59,977,240	59,977,240	0	0		
増減比	38.4	37.6	37.6	0.0	0.0		

〔諸収入の項別内訳〕

(単位：円、%)

諸収入	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増減額	増減率
1 延滞金、加算金及び過料	0	0	0.0	0	0	0.0
2 預金利子	8,121,220	8,121,220	100.0	11,005,427	2,884,207	26.2
3 雑入	211,221,504	211,221,504	100.0	148,360,057	62,861,447	42.4
合計	219,342,724	219,342,724	100.0	159,365,484	59,977,240	37.6

収入済額は 219,342,724円で、前年度に比べ 59,977,240円増加している。増加の主な要因は、第三者行為に係る損害賠償金が増加したことによるものである。

(3) 歳出

支出済額は 133,991,597,842円で、予算現額 141,648,589,000円に対する執行率は 94.6% となっている。

〔歳出予算の執行状況〕

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	執行率	構成比		
1 総務費	291,448,000	262,043,534	89.9	0.2	0	29,404,466
2 保険給付費	137,403,246,000	131,577,324,604	95.8	98.2	0	5,825,921,396
3 県財政安定化基金拠 出金	126,184,000	122,884,350	97.4	0.1	0	3,299,650
4 特別高額医療費共同 事業拠出金	12,120,000	9,427,518	77.8	0.0	0	2,692,482
5 保健事業費	250,316,000	177,938,153	71.1	0.1	0	72,377,847
8 公債費	10,822,000	0	0.0	0.0	0	10,822,000
9 諸支出金	1,842,038,000	1,841,979,683	100.0	1.4	0	58,317
10 予備費	1,712,415,000	0	0.0	0.0	0	1,712,415,000
合 計	141,648,589,000	133,991,597,842	94.6	100.0	0	7,656,991,158
平成21年度	132,660,383,000	129,451,053,263	97.6	-	0	3,209,329,737
増減額 -	8,988,206,000	4,540,544,579		-	0	4,447,661,421
増減率	6.8	3.5		-	0.0	138.6

第1款 総務費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	291,448,000	262,043,534	0	29,404,466	90.0
21	351,924,000	320,911,709	0	31,012,291	91.2
比較	60,476,000	58,868,175	0	1,607,825	
増減比	17.2	18.3	0.0	5.2	

〔総務費の項別内訳〕

(単位：円、%)

総務費	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	予算額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減率
1 総務管理費	290,911,000	261,595,567	90.0	320,478,177	58,882,610	18.4
2 賦課徴収費	537,000	447,967	83.4	433,532	14,435	3.3
合計	291,448,000	262,043,534	90.0	320,911,709	58,868,175	18.3

支出済額は 262,043,534円で、前年度に比べ 58,868,175円減少している。減少の主な要因は、診療報酬明細書二次点検及び療養費支給申請書情報入力業務委託料の入札差金による減、電算処理システムサーバ増設業務委託の終了による委託料の減である。

第2款 保険給付費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	137,403,246,000	131,577,324,604	0	5,825,921,396	95.8
21	128,365,625,000	126,819,066,142	0	1,546,558,858	98.8
比較	9,037,621,000	4,758,258,462	0	4,279,362,538	
増減比	7.0	3.8	0.0	276.7	

〔保険給付費の項別内訳〕

(単位：円、%)

保険給付費	平成22年度			平成21年度	前年度比較	
	予算額	支出済額	執行率	支出済額	増減額	増減率
1 療養諸費	132,681,284,169	126,952,856,449	95.7	122,611,157,694	4,341,698,755	3.5
2 高額療養諸費	4,371,351,831	4,284,478,155	98.0	3,870,828,448	413,649,707	10.7
3 その他医療給付費	350,610,000	339,990,000	97.0	337,080,000	2,910,000	0.9
合計	137,403,246,000	131,577,324,604	95.8	126,819,066,142	4,758,258,462	3.8

支出済額は131,577,324,604円で、前年度に比べ4,758,258,462円増加している。増加の主な要因は、被保険者数の伸び等により保険給付費全体が増加したことによるものである。

第3款 県財政安定化基金拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	126,184,000	122,884,350	0	3,299,650	97.4
21	105,839,000	105,838,114	0	886	100.0
比較	20,345,000	17,046,236	0	3,298,764	
増減比	19.2	16.1	0.0	372,321.0	

第4款 特別高額医療費共同事業拠出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	12,120,000	9,427,518	0	2,692,482	77.8
21	18,198,000	9,607,465	0	8,590,535	52.8
比較	6,078,000	179,947	0	5,898,053	
増減比	33.4	18.7	0.0	68.7	

支出済額は9,427,518円で、前年度に比べ179,947円減少している。減少の主な要因は、国保中央会への拠出金の算定基礎となる1件当たり400万円超の超高額医療費の額が減少したことによるものである。

第5款 保健事業費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	250,316,000	177,938,153	0	72,377,847	71.1
21	214,834,000	144,383,532	0	70,450,468	67.2
比較	35,482,000	33,554,621	0	1,927,379	
増減比	16.5	23.2	0.0	2.7	

支出済額は177,938,153円で、前年度に比べ33,554,621円増加している。増加の主な要因は、健康増進啓発テレビ番組制作及び歯科健診等長寿健康増進事業の実施により増加したことによるものである。

第8款 公債費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	10,822,000	0	0	10,822,000	0.0
21	11,365,000	0	0	11,365,000	0.0
比較		0	0		
増減比	4.8	0.0	0.0	4.8	

資金不足の際の一時借入金支払利子として予算計上したものであるが、年間を通じて資金収支が良好であり、一時借入する必要がなかったことによるものである。

第9款 諸支出金

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	1,842,038,000	1,841,979,683	0	58,317	100.0
21	2,053,842,000	2,051,246,301	0	2,595,699	99.9
比較	211,804,000	209,266,618	0	2,537,382	
増減比	10.3	10.2	0.0	97.7	

支出済額は1,841,979,683円で、前年度に比べ209,266,618円減少している。

第10款 予備費

(単位：円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
22	1,712,415,000	0	0	1,712,415,000	0.0
21	1,538,756,000	0	0	1,538,756,000	0.0
比較	173,659,000	0	0	173,659,000	
増減比	11.3	0.0	0.0	11.3	

4 財産

(1) 物品

重要物品（取得価格が50万円以上のもの）の状況は、次のとおりである。

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
各種自動車類	-	0	
各種機械類等	1	0	1
合 計	1	0	1

(2) 基金

特定の目的のために財産を維持し積み立てられた基金（定額の資金を運用する基金を除く。）の状況は、次のとおりである。

ア 財政調整基金

（単位：千円）

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
現 金	21,273	6,591	27,864
債 権	4,143	4,143	0

基金の額は、前年度末現在高 25,416千円から 2,448千円増加し、27,864千円となっている。

イ 後期高齢者医療制度臨時特例基金

（単位：千円）

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
現 金	398,563	1,139,549	1,538,112
債 権	1,115,089	1,115,089	0

基金の額は、前年度末現在高 1,513,652千円から 24,460千円増加し、1,538,112千円となっている。

第6 審査意見

平成22年度岩手県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計における決算審査の状況については以上のとおりである。

広域連合事務局が執行している事務事業は法令等を遵守し、概ね適正かつ効率的に処理されていたと認められる。また、歳入歳出予算の執行については、定期監査及び例月現金出納検査により執行内容を確認した限りにおいて、概ね適正であると認められる。

後期高齢者医療特別会計における不用額が7,656,991千円生じているが、これは国庫支出金などの歳入に対して、医療給付費が見込みほど伸びなかったものであり、これらの特定財源は翌年度に精算する財源となり、制度上やむをえない理由によるものと認められる。

広域連合は、年々増加する医療費をどのように抑制し、財政の健全化を図るかという課題も抱えているが、被保険者の健康づくりや医療給付を実施するという重要な役割を担っていることから、引き続き安心して医療を受けられるよう、今後とも着実かつ円滑な現行制度の運営に努められたい。